

## 設 立 趣 旨 書

食料自給率がおそろしく低い日本となってしまった今、地元の安心で新鮮な食べ物をいただくのも難しく、同時に子どもたちのアレルギーや体力の低下も増加の傾向にある。

安心・安全な食事を全ての子どもたちに提供できる環境が今望まれており、全国的にも給食の見直しの動きが広まっている。

この望ましい環境のためには、食の提供元である「農業」の環境を保全・改善・充実させていくことが急務で、具体的には農地の確保、土壌の改善、農業従事者への理解や支援、販売ルートの補償、などがあげられる。特に鎌倉市は土地の形状もあって農地が限られており、給食の量を確保していくためには、広く湘南地域や神奈川県全域、さらにはすでに改善が進んだ地域との連携が必須である。

これら課題に取り組むため、まずは広く市民に食の大切さ、農業の重要性、地産地消の大切さなどを認知・理解してもらうことが最優先であり、私たち「おいしい給食かまくら」としては質の高い農業を応援するための啓蒙活動が続けていきたいと考えている。さらに、その実践の場として、広く子どもの口に入る「学校給食」から食を変えていくことで、急速に定着が進むことを千葉県いすみ市などが証明してくれている。

現在までに私達は、食の大切さを知るための自主上映会、有識者による講演会、市内でのオーガニックマルシェの定期開催、農業従事者への給食提供の依頼などの活動を行ってきた。

これらをNPO法人として引き続き活動することで市民のより良い食への認知を確実なものとし、食の大切さをそれぞれの地域住民や保護者達を巻き込んで各々の学校と連携していくことを望んでいる。

NPO法人は情報公開が義務付けられており、活動の公平性や透明性を市民に公表することにより、市民からの信頼が得やすいと考え、この度NPO法人を設立することにした。また、農業関係者、学校法人、行政などと話を進める場において、NPO法人として自己紹介できることは、責任を持ってこの活動に携わっていることの証明にもなり、子どもの健康を真に願う親の集まりであることを主張するものになると信じている。

2025年 6月 10日

法人の名称 NPO 法人 おいしい給食かまくら

設立代表者 光成 佳世